



# ゆくて遥かに

令和元年 11 月 18 日 (月)

第 83 号

長野県松本深志高等学校長

## 2 年生キャリア研修旅行へ (11 月 14 日~15 日)

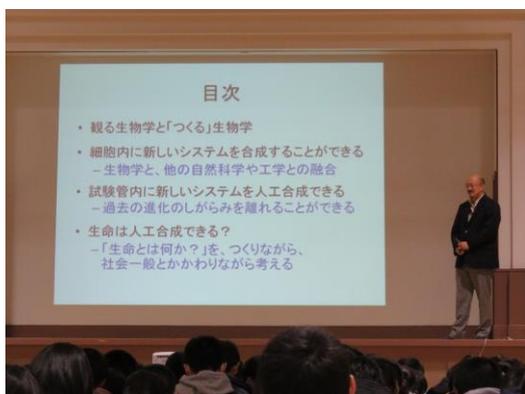
○生徒が自己の在り方・生き方を考え、主体的に進路を選択するための一つの体験学習とする。○将来への目的意識を持つことで、個々の学ぶ目的を明確にさせ、学習意欲の向上につなげる。以上二つを主目的として、2 年生のキャリア研修旅行が 1 泊 2 日の日程で行われました。一日目は大学 (一橋、明治薬科、東京農工、東京外語、明治、北里、東京工業、東京理科、慶応義塾、東京、早稲田、横浜国立) 見学と夜のイベント (ディナークルーズ、寄席、歌舞伎、観劇等) のセットというハードスケジュールを経て、宿泊先の品川プリンスホテルへ。二日目は希望別に 9 コースに分かれて終日研修を行い、バスにて帰路に就くという行程です。旅行準備のために 13 日は土曜授業の日課が設定してあり、3 時限には結団式を行いました。本校には修学旅行がなく、数少ない宿泊行事の一つです。その様子は、写真を入手して次号でお知らせします。



13 日小体育館で行われた結団式の教頭挨拶

## 1 年進路講演会・3 年租税教室 (11 月 13 日・14 日)

13 日の土曜授業の 3 時限、1 年生の進路講演会が講堂で行われました。早稲田大学先進理工学部電気・情報生命工学科の木賀大介教授をお招きして「生命は人工合成できる」というテーマでの模擬講義です。現在は生命の部品としての DNA やたんぱく質を研究者が望むままに作成できるようになってきたそうで、結果として生まれた「つくる生物学」としての合成生物学について、その意義を紹介していただきました。翌 14 日のロングホームルームの時間には、3 年生対象の租税教室が小体育館で開催されまし



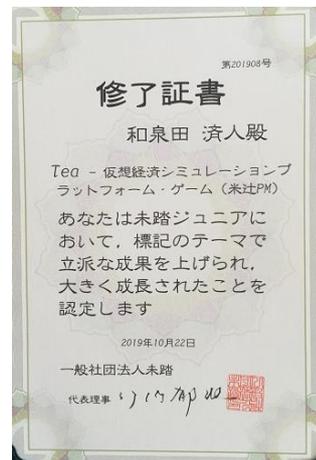
た。講師は、深志 OB (53 回) で松本市在住の税理士、川崎要介氏。ちょうど税を考える週間 (11 月 11 日~17 日) 中だったそうで、税の仕組みや目的等を確認し、国の財政の基本となる税に対する理解を深める良い機会になりました。また、川崎さんは大学卒業後、会社員を経て一念発起、会計士と税理士の資格を取得して転職したそうで、将来の進路選択に悩む後輩に対しての助言にもなったようです。



## 未踏ジュニア最終成果報告会 (10 月 21 日)

2020 年度からプログラミング教育が小学校で必修化されます。これは、これからの時代に必要となるプログラミング的思考、すなわち順序立てて考え、試行錯誤し、ものごとを解決する力、を養うためだと言われています。「プログラミングは既に人気の習い事になり、プログラミングを学ぶ小中高生の数は増え続けており、彼らの視点を上に向けさせ、広い活躍の場を提供することが急務

になっています。そこで一般社団法人未踏では、21世紀型イノベーションの創出を担う創造的人材を発掘及び育成すべく、今年度も未踏ジュニアを開催することにいたしました」(経済産業省所管の独立行政法人情報処理推進機構ウェブサイトより)この未踏ジュニア、4回目となる今年は全国から127件の応募があり、その中から13プロジェクト17人の企画が採択され、本校1年の和泉田くんの「仮想経済シミュレーションプラットフォームとゲーム」も選ばれました。採択者には50万円の資金援助と専門のアドバイザーが付き、企画を最終的に形にしたものを、10月21日の最終報告会で発表したそうです。和泉田くん、将来はプログラミングの仕事に就きたいとのことで、日々作りたいものが新しく湧き出てくる状態だとか。パソコン部を作りたい、との希望もぜひ実現させてください。



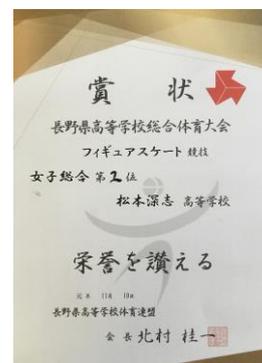
## 「自治の精神」検証外部研究者公募 (10月～11月)

本校の特色であり、重要な校風でもある「自治の精神」を重んじた教育活動について、外部の方々に客観的な目で評価・検証してもらい、さらなる発展につなげるための研究者を公募しています。研究期間は3年間で、校内に入って授業や生徒会、部活動など特色ある実践を教員や生徒と共同研究する計画です。詳しくは、松本深志高校のウェブサイトにも公募要領や必要な書類を掲載していますので、ご覧ください。校風や伝統を今の時代に合った形で引き継ぎながら、深く価値ある教育活動に進化させて、これからは生きる生徒たちが必要な力を蓄えられる仕掛けづくりをしていきたいと思えます。専門的見地からのご協力をよろしくお願いいたします。



## その他の話題をいくつか

★ フィギュアスケート競技の県高校総体が10日、岡谷市のやまびこスケートの森アイスアリーナで行われ、本校2年の小倉さんが見事2位となって、インターハイ出場を決めました。昨年度は同大会で3位、あと一步のところまで全国大会出場を逃していましたので、その雪辱を果たしました。インターハイは1月に北海道帯広市で開催されます。悔いのない演技で、晴れの舞台を存分に楽しんでください。



★ 来春実施する2020年度県立高等学校入学者選抜の募集定員が11日に発表になり、本校は7学級280人の募集となりました。11区の本年度の中学校卒業予定者数は3,854人で前年度比153人の減。少子化が進行する中で、とうとう本校も8学級を維持することが難しい状況となってしまいました。学習環境(特に教員数)が後退しないように、引き続き努力をしていながら、深志の学びが一層充実するように、力を尽くしていきたいと思っています。

## 今週の予定 (B2)

日	曜日	行事等	その他(主に校長動向)
18	月	京都大学出前授業 学年会	
19	火		校長会用務
20	水	職員会	
21	木	人権同和教育(2年) 進路講演会(1年)	校長会秋季総会
22	金		市立長野高校 100周年記念式典
23	土	勤労感謝の日	↑ 同窓会蛍雪会総会
24	日		↑ 県高校新人放送コンテスト
25	月	(A1) 面接週間(～29) 学年会	中信校長会